

バドミントン成年女子国体2連覇 ～和水町出身廣田彩花さんが活躍～

9月26日(土)～10月6日(火)に和歌山県で開催された第70回国民体育大会で、熊本県が秋田県を2-0で破り、バドミントン成年女子が優勝しました。

この試合に和水町竜門出身の廣田彩花さん(ひろた さやか)が出場。ダブルスに出場し、熊本県の2連覇に大きく貢献しました。廣田さんは高校卒業後に実業団に入り、現在は再春館製薬所で、選手として活躍しています。

今後もますますのご活躍を期待しています。



活躍中の廣田彩花さん(右)

片峯菅原神社竣工式

10月10日(土)、平野にある片峯菅原神社で神事と竣工式が行われました。当日は、多くの来賓や関係者が訪れました。三座や刀納めなどの神楽奉納があり、片峯菅原神社の竣工を祝いました。

片峯菅原神社は、2013年4月に火事により焼失。その後、各行政区からのお見舞金、各種団体・会社・和水町出身者などからの寄付や神社に使用する木材の提供など、多くの人々の支援により、再建することが出来ました。



再建された片峯菅原神社

3行政区で子タヌキ踊り

10月19日(月)、諏訪神社境内で、すわの原まつりが行われ、「子タヌキ踊り」が披露されました。この祭りは、立石区・大江田区・浦谷区の3行政区で構成される原口協議会が主催したものです。地域・世代間の絆が希薄になったと感じた区長などが、その絆を復活させようと企画しました。

当日は、竹提灯の灯りが照らすなか、タヌキの衣装を身にまとった25人の子どもたちが、笛や太鼓の音に合わせて子タヌキ踊りを披露。また、くまモンも登場し、子どもたちとともに子タヌキ踊りを踊りました。

タヌキに扮した子どもたちが、いきいきと踊る姿に、見に来た人々もエネルギーをもらったことと思います。



くまモンと子タヌキ踊りを踊る子どもたち

消防団装備品と神楽備品を整備 ～コミュニティ助成事業～

コミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。

今回、消防団の装備の充実強化を図ることを目的として、消防用カラーホース36本、また、コミュニティの健全な発展を目的として、平野地区の神楽備品(神楽鈴、胴長太鼓・白狩衣・鬼面・テントなど)が整備されました。

今後も、消防団と平野神楽のますますの発展を期待します。



消防用ホース



胴長太鼓



白狩衣



神楽鈴

ふれあいの森で稲刈り

10月11日(日)、ふれあいの森で毎月1回行われる里山活動が開催され、なごみの里協議会が、学生とともに稲刈りを行いました。

この日は、熊本県立大学の学生が約20人参加。また、地域の人々も多数参加し、総勢40人ほどで作業を行いました。稲刈りをしたことのない学生が半数近くいたので、地元の人々が優しく指導していました。学生たちは、前日の雨で、ぬかるむ田んぼにてこずりながらも楽しそうに作業をしていました。



稲刈りをする学生たち